



かがやき

西橋北小学校

学校だより

No.6

平成24年5月11日

授業の様子をお知らせします (文責:後藤 達人)

新しい学年になって、1ヶ月たちました。校内での教職員の研修体制や研修の方向性も定まり、授業が、目標達成に向かって着実に動き始めています。今回は、ごく普通に見られる授業風景ですが、その中に、きらりと輝く子どもの姿を発見しましたので、お伝えいたします。

1年生の音楽の授業です。「ひらいたひらいら」の曲に合わせて、みんなで手をつなぎ、円く輪になる場面でした。最初のうちは、なかなかきれいな輪にならず、ふくらんだりへこんだりしていました。自分の位置だけを見ていたからです。担当の教員の声かけで、みんなは、手をしっかり握ったまま、全体を見渡し、きれいな輪にすることに成功しました。とてもすばらしい成功体験です。みんなで協力できて、どの子もうれしそうでした。



3年生は、社会科の「校区の様子」の学習のために、3階のホールに入って、そこから見える市街地等の様子をグループごとに記録していました。何が、どこにあるのか、各方角を丹念に調べ、用紙に記入していきました。ここでも、グループ内での協力体制がよくできていて、分担しながら手際よく学習を進めることができていました。元気いっぱいの3年生ですが、目標がうまく持てると、こんなにも熱中した活動ができるのですね。

4年生では、算数科で、「角度」の学習に熱が入っていました。教科書で学んだことは、知識として習得できましたが、実際の測定場面になると、分度器のどちらから数値を読めばいいのか、迷ってしまうこともあります。そこで、提示用の大きな分度器を使って、角度の測定方法をみんなで確認する活動が必要になります。勇気を出して、黒板で実演する積極的な姿が見られ、主体的に学習に臨む姿勢が向上してきていることが実感されました。



今後も、各学年の学習の様子をお伝えしながら、西橋北小学校の校内研修の進み具合を振り返って検証していきたいと思えます。

本年度の校内研修の研究主題

「基礎的・基本的な知識や技能を身に付け、『言語力』を伸ばす

～テキストをもとに自分の考えを持ち、表現する力の育成～

新年度の校内掲示板

新年度を迎え、校内各所の掲示物も新しくなりました。まずは、トイレのドアです。そこには、右のようなポスターが貼られています。最後に書かれているメッセージ「ありがとう！」が、とてもすてきです。

次に使用する人のことを思い、はきやすいように、気持ちよく使えるようにと心配りをすることは、人間にとって大切なことです。だれも見えていないけれども、人のためを思っていることは、結局自分を高めることとなります。「陰徳」という言葉がありますが、徳を積むことで豊かな人間性が向上するというのでしょうか。しっかりと実行してほしいものです。



学習園にて

6年生が、ジャガイモの植え付けを行っていました。くぼみから芽が出ていること等を確認してから、畑に植え付けました。手つきは、上手とは言いがたいものですが、ていねいに、思いをこめて土の中に埋めていきました。



それから2週間後、立派な葉が出てきています。これからみんなで、しっかりと世話をし、見事なジャガイモを作ってください。そして、理科の学習で役に立った後は、おいしくなって、みんなの役に立つのかな? そんなことを考えながら、楽しく、ジャガイモの生長を見守ってほしいと思います。



西橋北小学校の自然 ~カラスノエンドウ~

子どもたちの間では、「ピーピー豆」と呼ばれています。花は、まさしくエンドウマメの小型版です。春先に芽を出したと思ったら、ぐんぐんとつるが伸びて、立派な姿に生長します。

花が終わると、すぐにさやができ、見る見るうちに大きくなっていきます。このさやも、また、エンドウマメの小型版です。



子どもの頃、丸々と育ったさやを使って笛を作り、みんなで鳴らしながら歩いたものでした。自然の中には、子どもの遊びに役に立つものがいっぱいありますね。



カラスノエンドウには、アブラムシ(アリマキ)がたくさん集まります。すると、当然ながら、それを捕食するテントウムシもたくさんやってきます。さらには、アブラムシを守るアリもたくさんやってきます。カラスノエンドウの森(?)は、熱い攻防が繰り広げられているのです。ピーピー豆で遊ぶときは、アブラムシに気をつけましょう。

